

中央小・星宮小地域協議会会議録

- 1 開催日時 令和元年7月22日（月） 午後6時30分～8時5分
- 2 開催場所 行田市産業文化会館第2会議室
- 3 出席者 学校運営協議会・PTA・自治会 35人、一般 14人 合計49人
- 4 教育委員会 鈴木教育長、江利川学校教育部長、藤井生涯学習部長
荻原学校教育部長次長、諸貫教育総務課長、白井主幹、柏瀬、久積
- 5 会議内容

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
教育長	2 あいさつ
教育総務課長	3 中央小と星宮小の再編成計画及び今後のスケジュールについて
出席者 A	4 意見等 この再編計画において、現在、どこまでが決定事項なのか。また、どこから話し合っていくことなのか。
教育総務課長	皆様に了承をいただき決定していくもので、本日は了承をいただきたいのは、新しい学校を令和4年4月1日に開校し、施設は現在の中央小学校を使用すること、そのための準備委員会を立ち上げることである。 また、学校再編成の進め方の具体的な内容については、今後、皆様の意見を伺いながら、話し合っていくことになる。
出席者 A	令和4年の再編成は決定ということか。
教育総務課長	本日、複式学級の解消、教育環境を整えるということで、皆様に了承いただきたい。
出席者 A	保護者の中には、再編成について決定事項だと思っている人がいる。例えば、皆様どうですかと学校ごとにアンケートをとる考えはないか。
教育総務課長	アンケートは可能であるが、検討期間や手続きの期間を考慮し、最短と考えた計画を進めることを、本日は承いただきたい。
出席者 A	教育長が話す、納得した計画とはどういうことか。

教育総務課長	開校の時期は教育委員会で決定したが、学校の再編成については、教育委員会ですべて示すのではなく、今後、準備委員会の中の話し合いにより詰めていきたいと考えている。
出席者 A	この承認は、何人以上の賛同によるなど明確なものはないということか。
教育総務課長	再編成の時期については、最短で設定しており、再編に反対ということではなければ、了承いただき、進めさせていただきたい。
出席者 A	令和 4 年に再編成を行うと思いつている保護者がいるが、話し合いで、開校の時期も変えられるということを周知してほしい。
教育総務課長	細かい内容は、話し合いで決定していくが、開校時期は計画により進めていきたい。
出席者 A	再編成を行うということか。
教育総務課長	皆様の賛同をいただき、進めていきたい。
出席者 A	賛同のない場合はどうなるのか。
教育総務課長	皆様が反対でなければ進めさせていただきたい。
出席者 A	学校単位で反対な場合はどうなるのか。
教育総務課長	現状だけではなく、今後のことも深く考えていただきたい。
出席者 A	再編成は理解できるが、3 年後は急である。検討いただきたい。
教育総務課長	10 年前から複式学級が想定されていたが、以前の計画が進まなかった。今回はできるだけ早く子供の教育環境を整えたいという思いがある。
出席者 A	複式学級を前々から想定していたことに対し、教育委員会の対応が後手に回ったのではないかと。それに対し、今回の 3 年は急である。 自分の子供にそのツケがまわるのは正直かわいそうである。

教育総務課長	以前の取り組みの反省点はある。ただ、ここで先送りすると今後の子供たちにツケがまわることになる。今後のこと、地域のことを考えていただきたい。
参加者B	「温故創生」という回覧を見たが、5年間の計画、太田西小と太田東小、星宮小と中央小、荒木小・須加小・北河原小と見沼中の再編成の年度を確認したい。 「温故創生」回覧だけではなく、公民館で配付したらどうか。説明会を実施するなど、情報を住民に知らせるのも教育委員会の仕事ではないか。 先日の市政懇談会では、平成20年の答申が頓挫したという話があったが、その場に経緯を知っている方がいなかった。今回は、反対があるから実施しないのではなく、説得し進めてほしい。
教育総務課長	星宮小と中央小及び荒木小・須加小・北河原小と見沼中の再編が令和4年、太田西小と太田東小の再編は令和5年である。 太田西小と太田東小の再編が1年遅いのは複式学級が生じる年度が遅いことである。 星宮小は複式学級が生じてしまうが、手続上3年は必要である。 北河原小は平成18年頃から複式学級が生じているが以前、再編成に至らなかったことから今回は、この先の長期的なものとして、小学校7校、中学校4校と設定している。そうしないと学校の規模が維持できないと考えている。 なお、優先的なものを短期的な計画と掲げている。 住民への周知については、回覧のほか、学校を通して保護者へ配布、ホームページに掲載をしている。公民館にも配置し周知を図っていく。
出席者B	計画は壮大で、2053年などと設定されているが、特に短期的なものに本腰を入れてほしい。
教育総務課長	行政として、長期まで見据えた計画が必要との考えである。実際にはその都度検討していかなければならない。短期的なものについては、課題解消の必要性について納得いただければ進めていきたい。 市政懇談会において、市長も全員の賛成がいただけないとしても必要があれば進めていかなければならないと話している。主旨に納得いただければ、皆様が納得いただけるような再編を進めていきたい。

出席者C	「手続き上」という説明をされているが、子供ファーストで考えてもらいたい。再編成は受け入れるが、要望として、再編の際の4～6年生はいきなり30人のクラスにならないよう、特別にクラス数を増やしてほしい。
教育総務課長	「手続き上」と言っているのは、子供のことを考えて、最短ということなのでご理解いただきたい。 クラスを増やすことは、教室数や教員の配置で難しい。即答はできない。なお、両校の交流事業は始めており、先日は6年生の英語の授業を行い、大人数で過ごしている。交流事業はこれから増やしていく。
出席者C	昔は学年4、5クラスあったので教室数はあるのではないか。教員も星宮小の教員がいるのではないか。
教育総務課長	中央小において、現在特別支援学級が4クラス設置されているほか、以前とは違う教室の利用をしている。教員の配置については、県が行う。少人数学級編制のための教員は市で雇っている。そのため、この場では即答できないと申し上げた。どのような配慮ができるか、子供たちが不安に思うのはどういうことか、皆様と一緒に考えていきたい。
出席者C	市で雇えるなら教員を配置してほしい。
教育総務課長	教員を希望する人も少なくなっており、難しいということを申し添える。
出席者D	統合ではなく、なぜ再編成なのか。
教育総務課長	今ある学校を閉校し、新しい学校を作るという主旨である。統合は吸収というイメージもあり、地域がおいていかれる気持ちになる。皆様に自分たちの学校と理解してもらうため、計画において、統合という言葉は使わない。
出席者D	中央小の名がなくなるのはショックである。施設は中央小を活用するのだからという気持ちはある。主旨は理解した。 クラスの人数と学力の関係性はあるのか。そのデータを踏まえ、今後どう考えているのか。

学校教育課長	ご指摘のとおり、クラスの人数は関係ない。授業の教え方、進め方、勉強のさせ方が結びつく。
出席者D	現在取り組んでいる少人数学級編制の成果を踏まえ学力向上のため、他の方法を考えてもよいのではないか。
学校教育課長	3年前から3，4年生の算数において、苦手な子に寄り添うためのパワーアップサポーターを配置している。今後、その成果等を検証していく。
出席者A	学力については、大きいクラス、小さいクラスは関係ないとのことだが、保護者からすると小さい学校が学力が高いと思う。 市内で一番学力の高い学校は教えられるか。
学校教育課長	公表していないため、答えられない。
出席者A	それでは何を基準に話しているのか。
学校教育課長	一般には公表はしていないが、教育委員会では把握しており、各学校ではその結果により学力向上に取り組んでいる。
出席者A	一番は小さい学校ではないということか。
学校教育課長	教員の教え方によるものが大きいと考えている。
出席者E	複式学級を避けるためにこの計画がある。計画の基本的な考え方を聞きたい。
教育総務課長	複式学級は勉強や生活面において、子供たち同士学びあったり、教え合ったりする場面が限られることから少なすぎる人数は課題があると考えている。また、現在は、さまざまな環境変化や学力向上に対応するため、小中一貫教育の推進も盛り込んでいる。
出席者F	先日の市政懇談会において、以前の再編成計画の成果がゼロではないかと指摘した。 そのため、今回の計画は、教育委員会に覚悟を持って進めていただきたい。

	地域の問題もあるが、現在の保護者、これから小学校に入学する保護者に対し、中央小、星宮小の両校に出向き説明会をしていただきたい。 意見を募る時期は過ぎており、子供が12000人の時24校あったが、5000人でも24校でよいのか。財政面でもお金を有意義に使い、それを子供たちに還元していただきたい。私は再編を理解している。 説明会は納得させる場としてほしい。現在学校へ通う子供は不運というが、教育委員会も天命だと思って、住民から後ろ指を指されるかもしれない。住民を納得してもらうよう頑張っていたきたい。
教育総務課長	保護者への説明会は行っていく。これからの義務教育をどうするか。財政面もあるが、子供たちの教育環境を整えるため、納得いただくまで話し合う。実現に向け、取り組んでいく。
出席者G	再編成においては、子供のストレス等が心配である。不登校が生じた際のフォローを具体的に示してほしい。
教育総務課長	不登校が生じないよう取り組むが、不登校となった場合、元の下忍小学校の施設を使った教育研修センターのウィズ教室という自分の学校に通えない子供が通う施設がある。
出席者G	資料が欲しい。
教育総務課長	承知した。
出席者H	より多くの保護者に知ってもらうため、学校で説明会を行ってほしい。子供たちのケアをより深く考えていただきたい。交流事業にはより多くの時間をとってほしいし、中央小の子供にも星宮小に来てもらいたい。この学校の友達と一緒にするという意識づけになる。
教育総務課長	保護者への説明会を実施する。再編にあたっては、それぞれの学校に配慮しながら進めて行く。 現状、中央小と星宮小は6年生のみの交流事業であるが、見沼中区は1学期中に全学年を行い、それぞれの学校を行き来している。星宮小での交流事業も行うとともに、星宮のことについて学ぶ授業を新しい学校で行うなど、取り組んでいく。
出席者C	星宮小の保護者の方々の思いを聞いた。中央小の保護者にもこれらを

教育総務課長 司会 司会	お知らせする機会があればよいし、なぜ再編成なのかという説明もお願いします。 中央小の保護者にも説明していく。 中央小と星宮小の再編成について伺う。ご了承いただける方は拍手をお願いします。 （拍手多数） 中央小と星宮小の再編については、今後のスケジュールに沿って進めさせていただく。 先ほど説明した開校準備委員会、専門部会のおいてもご協力いただくことが多数あるのでよろしくお願いします。 また、後日、中央小と星宮小の再編成のホームページを作成し、準備委員会の進捗情報や再編成を進めるにあたっての意見等の提出方法を掲載する。提出された意見は、専門部会等で活用させていただく。 5 閉会
-----------------------------------	--